

2019年2月27日

世界初！ハイブリッドカーの基幹ユニットをリユースした 次世代対応型モビリティを提案します。

豊田通商、EV ジャパン、CDSI、講談社、Mapion は、
基幹部品にリユースユニットを使用したコストパフォーマンスが高く
幅広いコンテンツの供給など多機能を有する
次世代モビリティを商品化していきます。

豊田通商株式会社(愛知県名古屋市/以下、豊田通商と記載)と株式会社 EV ジャパン(大阪府豊中市/以下、EVJ と記載)、株式会社 CDS 経営戦略研究所(東京都千代田区/以下、CDSI と記載)、株式会社講談社(東京都文京区/以下、講談社と記載)、株式会社マピオン(東京都港区/以下、Mapion と記載)の5社は、環境問題や地域の移動問題を解決し、利用者に優しく、乗っていて楽しい新たな価値・サービスを持つモビリティ開発を目指します。

■ハイブリッドカー(プリウス)の基幹ユニットをリユースしたリマニュファクチャリング製品

豊田通商では、平成28年度より環境省の実証事業として、オーナーの手を離れたハイブリッドカーから回収したモーター・ECU・バッテリーなどのHV基幹ユニットをリユースするシステムを構築しました。さまざまな用途に展開するためシステムは標準化され、電動カートや観光地用周遊バス、農業用軽トラックといったモビリティ用途を中心に、さまざまな動力システムへの供給が可能となります。また、それを受けて EVJ 並びに CDSI では、リユース用途に合った車両の試作・設計・カスタマイズなどを実施し、単に走るだけでなく遠隔監視や遠隔制御、自動運転といった機能を付加した車両の開発を行なっています。外部サービスとの連携のもと、地域情報や観光案内、交通情報、天気予報といった有益な情報を提供することで、利用者の満足向上にも努めます。同時に、車両の組立やメンテナンスにおいては、EVJ が豊田通商の支援を受けて全国の地域自動車解体・整備事業者が新たなビジネスとして取り組み可能な仕組みをデザインし、支援体制やマニュアルを整備することで、地域の産業創出並びに活性化と、都市資源の地域循環・リユースサイクルの構築を目指します。第一弾は、今回グリーンズローモビリティ(電動小型低速車)として小型車両・軽車両をリリースし、今後普及拡大を図って参ります。

■モビリティ向けに「コミュニケーション・ロボット ATOM」とコンテンツを提供

講談社は、平成30年10月「コミュニケーション・ロボット ATOM」の販売を開始しました。「コミュニケーション・ロボット ATOM」は日本初の本格的キャラクターロボットとして講談社他「ATOM プロジェクト」の5社が企画・開発。クラウド AI とフロントエンド AI が連携し、人の表情に反応しながら親和性の高い自然な対話を実現します。みんなで楽しめるしりとりやなぞなぞ、心理テストなど、移動中を楽しみ時間にしてくれるコンテンツです。今回、講談社は Mapion と連携して地域情報や環境案内などモビリティ向けコンテンツの開発を行い、当該

電動カートに「コミュニケーション・ロボット ATOM」を搭載しました。将来的には、各地域にローカライズされた「ご当地 ATOM」を提供するなど、次世代対応型モビリティへ新たなサービスの充実を目指します。

■第2回 地方創生 EXPO への出展

この度、豊田通商並びに EVJ、CDSI の三社を中心として、講談社並びに Mapion の協力のもとに、本日 2019 年 2 月 27 日より 3 日間にわたって幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催される地方創生 EXPO へ次世代モビリティプロトタイプの出展を行ないます。

ハイブリッドのシステムをリユースした次世代対応型「グリーンスローモビリティ」
会場：幕張メッセ 東4ホール IT×地方創生ゾーン 16-90
共同出展社：豊田通商、EVJ、CDSI
出展協力社：講談社、Mapion

本出展では、グリーンスローモビリティ向けに開発中の車体の展示を行なうと共に、利用者に提供される地域情報や観光案内のデモンストレーション、講談社がプロデュースする「コミュニケーション・ロボット ATOM」との連携、プロジェクトの詳細をわかりやすく図示したパネルの展示など、来場者の皆様にお楽しみいただける展示をご用意してお待ちしております。詳しくは、上記出展情報並びに下記地方創生 EXPO ウェブサイトをご覧ください。
地方創生 EXPO Web-site: <https://www.sousei-expo.jp/>

■参加する各社の役割

<モビリティ>

- 豊田通商
1. 事業企画・事業モデルの構築
 2. HVユニットの回収とリユースシステムの標準化
 3. 各種リマニュファクチャリング製品の展開
 4. トレーサビリティシステムの提供
- EVJ
1. 車両試作・設計
 2. 車両製造・地域向けローカライズ・ナンバー取得
 3. 製造・整備を担う地域自動車整備事業者ネットワークの構築
 4. 上記地域自動車整備事業者ネットワーク向け製造・整備マニュアルの作成
- CDSI
1. 遠隔監視・遠隔制御・自動化向け IoT/ICT デバイスの開発
 2. 車両試作・設計、事業モデル構築の支援
 3. 開発プロジェクトの全体調整
 4. 各社システム間通信、データ交換仕様の策定

<コンテンツなど>

- 講談社
1. 「コミュニケーション・ロボット ATOM」の提供
 2. 各種コンテンツの提供・協力
 3. モビリティ向けコンテンツの開発
 4. 地方自治体向け独自コンテンツの開発

- Mapion
1. 地域情報・観光情報の収集
 2. 地域情報・観光情報DBの構築
 3. 地域情報・観光情報の提供

【報道機関からのお問い合わせ先】

豊田通商株式会社
渉外広報部 広報室 TEL. 03-4306-8200

株式会社EVジャパン
モビリティ開発部 TEL. 06-6866-2828

株式会社CDS経営戦略研究所
IoT/ICT システム開発室 TEL. 03-6261-1980

株式会社講談社
広報室 TEL. 03-5395-3410

株式会社マピオン
広報室 TEL. 03-3769-3501